



「親亡き後」

施設長 松島栄一

障害者福祉の最大の課題は、「親亡き後」とよく言われます。この言葉は、障害者のご家族、特に親の側からの心配を象徴する言葉であり、いろんな意味を含む象徴的でとても重たい言葉でもあります。この「親亡き後」のことについて考えてみたいと思います。

私も障害者と呼ばれる家族をもつ親でもあります。従って当然自分が死んだらどうなるのかという心配もしないわけではありません。その内容はどんなところに住み、どんな暮らしを送れるのかといったところでしょうが、最大の不安は誰が見守ってくれるのかということなのかと思います。だからよく兄弟に託すとか、兄弟には負担がかけられないとかを聞きますし、最終的には施設しかないとも言われます。少し前の報道でも介護していた親が急になくなってしまい、重度の障害を持つ子ども（といっても成人だったと思いますが）餓死してしまったという悲惨なニュースもありました。

しかしどうでしょうか、このケースは、「親亡き後」の問題というよりは、親が生きていても孤立していたり、十分に福祉の施策が行き届いていないという問題なのではないでしょうか。このことは高齢者介護や生活保護といった分野ではむしろ頻繁に起きていることです。今の日本では、親が死んだからと言って直ちに命すら危うくなることは、ないといってもいいのではないのでしょうか。

とはいっても親亡き後の不安は歴然としてあります。その中身はどんな暮らしがおくれるのかといった生活の質の問題でしょう。その展望が見えないことにとっても不安を感じているということだと思います。生活の質の要素について次のように整理してみました。

1. 後見の問題（誰が見守ってくれるのか）

金銭や財産の管理から健康面、各種手続きといった身上監護面での見守りとサポート

2. 住居の問題

どこに住んで、どんな生活を送るのか

3. 就労、社会参加の場

日中の活動をどうするのか。収入の問題

4. 自己実現

余暇、人付き合い等自分の生きがいや、好きなことをして楽しく人生を送れるのか大きく分けて以上の4つの内容に整理できるのではないのでしょうか。「親亡き後」という言葉は一方的に親が心配していることではありますが、その中身は障害のある本人がこの社会で生きてゆくために整えなくてはいけないことであるわけです。その一つ一つについて考えてゆきたいと思います。

続く

～「けやき」ミニ・ギャラリー①～

<3月26日「お疲れ様会」>

シーサイドオーツカでお昼ご飯を食べてきました!!



<3月27日「2012年度けやき」解散式>

悪天候のため、外で行うことが出来ずとけやき“光”の室内に集まり行われたのが…

2012年度の解散式です★

いつも先頭を走ってくれた西職員が「けやき」を離れることになりました…さびしくなります。



そして…2013年度の新しいスタートを切ることになります。

4
・
5
・
6
・
7月の予定

4月22日(月): ~健康チェック週

28日(日): 昭和の日(休業日)

29日(月): 振替休日(休業日)

5月 3日(金): 憲法記念日(休業日)

4日(土): みどりの日(休業日)

5日(日): こどもの日(休業日)

6日(月): 振替休日(休業日)

20日(月): ~健康チェック週

23日(木): 外出日(バス)

6月21日(金): 外出日

24日(月): ~健康チェック週

7月16日(火): 外出日

22日(月): ~健康チェック週

「2013年度けやき」事業計画説明会のお知らせ

今年度の「けやき」事業計画をご説明させていただく場を以下の通りに設けました。
当日は、短い時間ですが、皆様からの率直なご意見も伺えればありがたく思います。
お忙しいことと存じますが、ぜひ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2013年5月7日（火） 10時半～11時半

場所：ゆりの木館3階会議室

（「けやき」と同じ敷地内です）

新スタッフの自己紹介

～今年度より新しい職員が2名「けやき」に加わりました！～



みね てつや
峰 哲也

4月よりけやきでお世話になっている峰哲也と申します。

1995年に九十九会に採用され、榎の木学園で5年間、2000年にまあるい広場に異動し、13年間仕事をさせていただいております。

趣味は家庭菜園。と大きな声で言いたいところですが、とてもいい加減で収穫が出来れば良いな、といった感覚で適当に楽しんでいます。

また、今年の本厄の年。厄除け祈願はしてきましたが、健康等には十分に気をつけなくてはと少々焦っています。何事もなく一年を過ごせるようにと願うばかりです。

今回の異動で久しぶりに睦沢に戻ってきました。のどかな自然に囲まれ、利用者の皆さんとのんびり、楽しく活動をしていきたいと思えます。一日でも早く仕事に慣れ、利用者さんとも関係を築いていけるように努力していきます。まだまだわからないことが多くご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、どうぞ宜しくお願いいたします。



つきざき つよし
月崎 剛志

私はこの4月から非常勤職員として「けやき」で働き、1年間という短い期間でたくさんのことを勉強したいと思っています。

1年間勉強をし、大阪の無料学童で働きたいです。その学童には、自閉症の子や、盲目の子がいます。短大生の時にボランティアで行った時には、勉強不足で何もできず、悔しい思いをしました。

今まで、実習やボランティアで障害を持つ人たちとたくさん関わってきたつもりでしたが、まだまだでした。この1年間は今まで以上に関わりを持ち、深く考える機会を持って過ごしたいと思っています。また、他の職員のみなさんの言動を参考にし、多くのものをいい意味で盗んでいきたいです。

まだ何もできない私ですが、1年間よろしくお願ひします。

上記の職員峰・月崎が加わり、新たなメンバー構成になりました。

今年度もよろしくお願ひします。

施設長：松島栄一

スタッフ：峰 哲也（主任） 玉木由美子 戸田恵里香

※万谷哲司 ※丸山美津江 ※橋本絵里 ※石川陽子 ※月崎剛志

看護師：丸 祐子

※印は非常勤職員

事務；飯島 馨（一松工房兼任）

囑託医；外房こどもクリニック

<活動体制>

「けやき・風」**スタッフ**：◎戸田 玉木 万谷※ 丸山※ 月崎※（◎リーダー職員、※非常勤）

「けやき・光」**スタッフ**：◎峰 丸★ 橋本※ 石川※（◎リーダー職員、※非常勤、★看護師）

～「けやき」ミニ・ギャラリー②～

<「2013年度けやき」始動開始！！4月のある日>

2013年度も「けやき」らしくのんびりとはじまりました。

これから1年、どんな出会いがあり、どんな出来事が待ってるか楽しみです。

調理実習をしました！！おいしく出来上がるか楽しみ・・・



お願い 「けやき」の活動の様子画像を今年度も「木洩れ日」や「生き生き展用のポスター」「けやきホームページ」などに掲載したいと思います。掲載を希望しない利用者・保護者の方は、お手数ですが「けやき」（担当；峰）までご連絡下さい。